

平成30年 6 月 5 日

環境測定分析実施機関各位

川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人日本環境衛生センター
理事長 南川 秀樹

平成30年度環境測定分析統一精度管理調査（環境省主催）に係る参加申し込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、当所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査を実施しております。

本年度の調査に関しては、基本精度管理調査として、模擬排水試料の一般項目（カドミウム、鉛、ヒ素、鉄、マンガン、総水銀、アルキル水銀、及び全リン）を対象とします。高等精度管理調査（1）として、模擬大気試料中の有害大気汚染物質（詳細項目として1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、トルエン、トリクロロエチレン、ジクロロメタンの5項目、参照項目として四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタン、1,2-ジクロロプロパン、1,1,2-トリクロロエタン、テトラクロロエチレン、塩ビモノマー、1,3-ブタジエンの7項目）を対象とします。また、高等精度管理調査（2）として、底質試料中のPCBを詳細項目とし、総水銀、アルキル水銀を参照項目として実施します。本調査に関する詳細は、本調査のホームページ(<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>)をご覧ください。

今年度調査に基づく参加申込要領を御案内いたしますので、従来と変わらぬ本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本件担当

環境事業第二部 佐々木、竹内

電話 044-287-0766

平成30年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申込要領
(地方公共団体、全国環境研協議会所属機関)

1. 調査試料

区分	名称	容器 (内容量)	個数	備考
共通試料 1	模擬排水試料 (一般項目分析用)	ポリエチレン瓶 (約1000 mL)	1	水溶液
共通試料 2	模擬大気試料 (有害大気汚染物質分析用)	キャニスター (6 L, 150 kPa)	1	窒素ベースのガス
共通試料 3	底質試料 (PCB分析用)	ガラス瓶 (約50 g)	1	粉体

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 模擬排水試料(一般項目分析用)

試料中の一般項目 8 項目 (カドミウム、鉛、ヒ素、鉄、マンガン、総水銀、アルキル水銀、及び全リン) を測定対象とする。

参加機関は最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。

(2) 高等精度管理調査

a. 模擬大気試料 (有害大気汚染物質分析用)

試料中の 1, 2-ジクロロエタン、ベンゼン、トルエン、トリクロロエチレン、ジクロロメタンの 5 項目を測定対象 (詳細項目) とする。

なお四塩化炭素、1, 1, 1-トリクロロエタン、1, 2-ジクロロプロパン、1, 1, 2-トリクロロエタン、テトラクロロエチレン、塩ビモノマー、1, 3-ブタジエンの 7 項目については、参照項目として測定対象とする (参照項目の分析条件等については、詳細な調査は実施せず、分析結果の報告のみとする)。

参加機関は最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。

b. 底質試料 (PCB分析用)

試料中の PCB を測定対象 (詳細項目) とする。

なお、総水銀、及びアルキル水銀の 2 項目については、参照項目として測定対象とする (参照項目の分析条件等については、詳細な調査は実施せず、分析結果の報告のみとする)。

参加機関は最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。

3. 分析方法

(1) 模擬排水試料(一般項目分析用)

「排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法」(昭和49年環境省告示第64号)等に定める方法等により分析する。

(2) 模擬大気試料 (有害大気汚染物質分析用)

「ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準について」(平成9年環境庁告示第4号)に定める方法又は「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」(平成23年3月環境省水・大気環境局大気環境課)に定める「容器(キャニスター)採取-ガスクロマトグラフ質量分析法」により分析する。

(3) 底質試料(PCB分析用)

「底質調査方法」(平成24年8月環境省水・大気環境局)又は「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル(水質、底質、水生生物)」(平成10年10月、環境庁水質保全

局水質管理課)に定める方法等により分析する。

4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

(1) 配布時期 (予定)

模擬排水、底質試料：7月下旬

模擬大気試料：8月中旬を予定（配布方法の詳細は後日、HP上に掲載）

配布日の詳細が固まり次第、ホームページでお知らせ致します。

(2) 報告期限 (予定)

模擬排水、底質試料：8月下旬～9月上旬

ただし、分析結果報告の方法（ホームページ又は用紙による報告）により報告期限が異なります。用紙による報告の場合、ホームページによる報告に比べて期限が1週間程度早くなります。

模擬大気試料：9月中旬～下旬を予定（詳細は後日、HP上に掲載）

(3) 調査結果の報告 (公開等)

・全体の中間報告は10月中～下旬頃を予定しています。

・分析結果を報告いただいた機関には、年度末（3月頃を想定）に「調査結果報告書（本編）」、「調査結果報告書（資料編）」を送付予定としています。

5. 申込方法

申し込み方法には「郵送による方法」、「ホームページによる方法」があります。

「郵送による方法」は、別紙参加申込書に記入の上、期限までに下記(2)申込先へ送付ください。

「ホームページによる方法」は、平成25年度から平成29年度に本調査へ参加頂いた機関におきましては、ホームページ「<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>」にアクセスし、トップページ中の「調査参加機関ログイン」を選択するとログイン画面が表示されます。「機関コード」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックすると参加申込の画面が表示されますので、期限までに入力してください。平成25年度から平成29年度の期間に本調査へ参加しなかった機関及び参加したが「機関コード」、「パスワード」をお忘れになった機関におかれましては、ホームページによる申し込みはできませんので「郵送による方法」でお申し込みください（注）。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦ください。また、調製する共通試料には数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

（注）今年度の参加申し込み機関の「機関コード」、「パスワード」は、試料の送付（配布）時にお知らせしますので、「郵送による方法」でお申し込み頂いた機関におかれましても、分析結果報告等はホームページからの報告が可能となります。

(1) 申込期限 平成30年7月5日（木）（必着）

(2) 申込先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人日本環境衛生センター
環境事業第二部 佐々木、竹内 宛

(3) 問合せ先 TEL 044-287-0766

6. その他

(1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

(2) 分析結果の公表

各種の統計量の算出根拠に該当する報告値、分析条件別の回答数、あるいは各種の文章表現等につきましては、機関名は伏せた上で公表します。参加申込をいただいた機関については、その旨をご了承いただいたものとして、処理させていただきます。

(3) 極端な分析結果

極端な分析結果（外れ値等）を報告された場合には、その原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。

(4) ホームページによる分析結果報告の作成

環境測定分析統一精度管理調査ホームページで本調査に関する情報等を閲覧することができます（<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>）。

参加機関は、当ホームページから分析結果報告を行ってください。用紙による報告は必要ありません。ホームページによる報告が難しい機関のみ用紙による報告とします。なお、用紙による報告の場合、ホームページによる報告期限に比べて一週間程度早くなります。

(5) 試料の追加請求

原則として、1分析機関につき事前にお申込みいただいた1セットの試料を送付しています。ただし、募集締め切り後に残余の試料がある場合には、実費相当（+送料）で領附いたします。追加試料をご希望の場合は締め切りまでにその旨ご連絡ください。

分析結果の報告例

① 従来の報告書様式

整理番号	分析方法	分析結果			備考
		1回目	2回目	3回目	
10001	1	207	199	193	1
10002	1	196	195	195	1
10003	1	184	187	187	1
10004	1	195	195	194	1
10005	1	195	194	196	1
10006	1	194	194	192	1
10007	1	199	194	195	1
10008	1	208	206	204	1

② 機関名は伏せた上で、分析結果、及びZ-スコアを併記する場合の例（アンケートで1.の場合）

整理番号	分析方法	分析結果			Zスコア	備考
		1回目	2回目	3回目		
10009	1	203	205	206	0.440	1
10010	1	206	207	204	0.534	1
10011	1	210	250	230	2.83	1
10012	1	193	193	193	-0.660	1
10013	1	178	181	183	-1.82	1
10014	1	220	230	250	3.14	1

③機関名、分析結果を併記する場合の例（アンケートで2.の場合）

機関名	分析方法	分析結果			備考
		1回目	2回目	3回目	
環境省環境管理室	1	206	207	204	1
環境調査研修所	1	202	209	202	1
国立環境研究所	1	193	193	193	1
国立医薬品食品研究所	1	178	181	183	1
産業総合研究所	1	208	206	204	1
日本環境衛生センター	1	203	205	206	1

④機関名、分析結果、及びZ-スコアを併記する場合の例（アンケートで3.の場合）

機関名	分析方法	分析結果			Zスコア	備考
		1回目	2回目	3回目		
環境省環境管理室	1	206	207	204	0.534	1
環境調査研修所	1	202	209	202	0.408	1
国立環境研究所	1	193	193	193	-0.660	1
国立医薬品食品研究所	1	178	181	183	-1.82	1
産業総合研究所	1	208	206	204	0.566	1
日本環境衛生センター	1	203	205	206	0.440	1

⑤ 上記の①～④の表を混載して記載する。（アンケートで4.の場合）

機関名	分析方法	分析結果			Zスコア	備考
		1回目	2回目	3回目		
環境省環境管理室	1	206	207	204	0.534	1
環境調査研修所	1	202	209	202	0.408	1
国立環境研究所	1	193	193	193	-0.660	1
日本環境衛生センター	1	203	205	206	0.440	1
10003	1	184	187	187	-	1
10009	1	203	205	206	0.440	1
10013	1	178	181	183	-1.82	1
10014	1	220	230	250	3.14	1
10053	1	207	199	193	-	1
10108	1	196	195	195	-	1
10211	1	210	250	230	2.83	1